



# R&Dサテライトが始動

～オープンイノベーションのさらなる創出へ～

イノベーションの創出には、自社の既存の技術やノウハウの活用に加え、お客さまをはじめとする社外のソリューションとの融合が欠かせません。

当社はお客さまの拠点への訪問や技術開発センター（神奈川県・愛川町）へのご案内を通して、技術紹介やニーズの把握を行っています。しかしお客さまの拠点と当社の拠点が離れていることが多く、移動に時間を要するため、ご案内の機会が限られてしまっていました。一方でWeb会議等では、従来の設備を通じて技術をお見せすることが難しいという課題がありました。

これらの課題を解決すべく、2023年4月、技術開発センターのサテライト施設「TAIKISHA INNOVATION GATE Shinjuku」を、本社オフィスにオープンしました。交通の利便性が良い東京・新宿エリアに、当社の技術を体感できる「ゲート」を設けることで、コミュニケーションの幅を広げ、社内外のソリューションの融合や次のイノベーションの発掘につなげていきたいと考えています。

## コンセプト・各エリアの紹介

「TAIKISHA INNOVATION GATE Shinjuku」のコンセプトは、映像コンテンツやMR (Mixed Reality: 複合現実) 技術を活用して、お客さまに当社が保有する技術に興味・関心をもっていただくことです。また、技術開発センターでのオープンイノベーションの機会を創出するという目的もあります。



### Greeting Space

お客さまをお出迎えするスペースです。

### Brand Theater

大型モニターを設置し、当社のこれまでの歩みを映像コンテンツでご紹介します。

### Innovation Gallery

タッチパネルモニターで、当社の技術をご紹介します。また、ウェアラブルコンピューターやタブレットを利用して、当社の技術をMRで体感いただくことができます。

### Creation Hub

技術開発センターとつながる会議室として、技術開発センター内部を、360度カメラを使用しながらリアルタイムでご案内します。また、360度カメラで撮影した当社の技術をご紹介します映像コンテンツもご覧いただくことができます。



## 今後の展望

技術開発センター内の研究棟は、本年2月から建て替え工事に着手し、社外とのオープンイノベーションによって、お客さまや社会のニーズを先取りした技術開発ができる研究施設に生まれ変わろうとしています。今後「TAIKISHA INNOVATION GATE Shinjuku」を皮切りに、国内・海外の各拠点と、技術開発

センターの結びつきをより強固にし、お客さまをはじめとする外部との協創によるオープンイノベーションを加速させていきます。現状は環境システム事業部のサテライトとなりますが、将来的には塗装システム事業部のサテライト機能も果たせるよう計画しています。

## 「TAIKISHA INNOVATION GATE Shinjuku」の利用実績

2023年4月のオープン以来、メーカー、設計事務所、銀行、ゼネコン、商社など、全国からさまざまな業種のお客さまが訪問され、2023年7月時点の訪問件数は15社でした。

また、お客さまやお取引先さまとの協創によるオープンイノベーションも活発化しており、その一例をご紹介します。

### お客さまからのご意見

- デジタルを活用した先進的な取り組みでわかりやすかった
- Innovation Galleryの俯瞰的な確認は各種設備とのインテグレーションにおいて大変有用だと感じた
- タッチパネルによる技術紹介は、社会課題をどのように解決できるかを分かりやすく表現できれば、来訪者の方から共感を得られるのではないかと

### お客さまの声



進和テック株式会社  
代表取締役社長  
渡邊 裕元 様

このたびは大気社の最先端技術を集約した「TAIKISHA INNOVATION GATE Shinjuku」にお招きいただき、ありがとうございました。

INNOVATION GATE内はオフィスビルとは思えない異次元空間が広がり、Brand Theaterでは大気社の歩みを知ることができました。またInnovation Galleryでは、VR技術を用いて気流が3Dで表現されており、今後の技術の可能性を感じました。

メイン施設となるCreation Hubは、技術開発センターとカメラでつながっており、壁一面に施設担当者が映し出されることで、あたかもそこに人がいるかのような空間でした。

今回、大気社が新たに取り組む技術を実験室からリアルタイムで見ることができ、改めて感動を覚えています。今後、大気社とのパートナーシップにより、ともに新たな技術で業界をにぎわせることができれば嬉しい限りです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

## 実際に取り組みを進めているオープンイノベーションの事例

### CO<sub>2</sub>濃縮回収

植物工場では植物の光合成を促進するため、外気よりもCO<sub>2</sub>濃度を高く設定しています。CO<sub>2</sub>は現在ポンベから供給していますが、外気からCO<sub>2</sub>を濃縮して供給することで、ポンベの代わりとなる装置の開発に取り組んでいます。

### ロボット・ITの活用

当社の事業活動における生産性向上、無人化に向けて、ロボットによる試運転計測や、ITを活用した試運転帳票整理の自動化に取り組んでいます。今期より実際の施工現場での試用を開始しました。また、現在の作業改善のためのフィルターリーク試験装置も開発し、今後、施工現場にて試用し評価する予定です。

### 滅菌装置

人々が快適に、健康的に過ごすことができる環境には、温度や湿度、気流だけでなく、清浄度のコントロールも重要です。清浄度の高い安全な環境を提供するため、空調機の外側に設置できる滅菌装置の開発に取り組んでいます。すでに性能の検証は終了しており、市場投入に向けて販売の準備を進めています。

## 当社で開発中の技術

潜在的な顧客ニーズの把握や、お客さま・学術機関との共同開発や検証に注力することで、新たな価値創造につながる技術の開発を進めています。

### green TEC

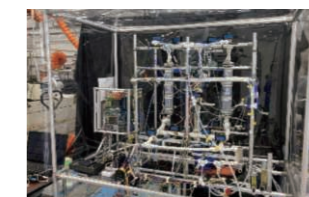
- CO<sub>2</sub>分離活用技術
- 自然エネルギーの利用
- 環境負荷を低減した排気処理

### smart AGRI/HEALTH

- 滅菌装置
- 消音技術
- 感染防止対策としての気流可視化
- 直膨輻射空調

### smart FACTORY

- ロボット制御
- 室圧制御
- 環境試験室
- 技術検証室
- 変風量低露点室
- 人追従空調 (製品名:FOLLOAS)
- 精密空調



環境負荷低減CO<sub>2</sub>削減



自然エネルギー利用